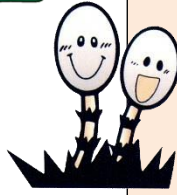


# 上越つくしの里 活動報告



発行 (福)上越つくしの里医療福祉協会  
〒943-0109 上越市北新保 55-1  
TEL 025-520-3294 FAX 025-520-2582  
URL <http://www.tsukushinosato.com>  
MAIL [tsukushi@tsukushinosato.com](mailto:tsukushi@tsukushinosato.com)  
(発行日 平成 29 年 9 月 30 日)

## 法人理念について

平成26年4月、統括施設長の交替など、新たな体制で法人の運営がスタートしました。職員がどのような気持ち、姿勢で利用者支援等の業務を遂行していくか、その基礎となる法人の基本理念を再構築していくことも必要ではないかと、職員研修の際に前統括施設長からアドバイスをいただきました。

作られた理念ではなく、自分たちで作り上げていく理念を。全職員から日頃の業務の中で考えているキーワードを出してもらい、それを基に年2回の法人内職員研修、利用者支援部会、施設長会議の中で継続的に討論し、平成28年4月、新たな理念、基本方針、職員行動指針を作成しました。

利用者に対しても地域に対しても、職員が一丸となって同じ考え方や行動ができるよう、本理念を持って業務に当たっていきたいと思います。  
(上越つくしの里医療福祉協会 統括施設長 田邊 信)

### 法人理念

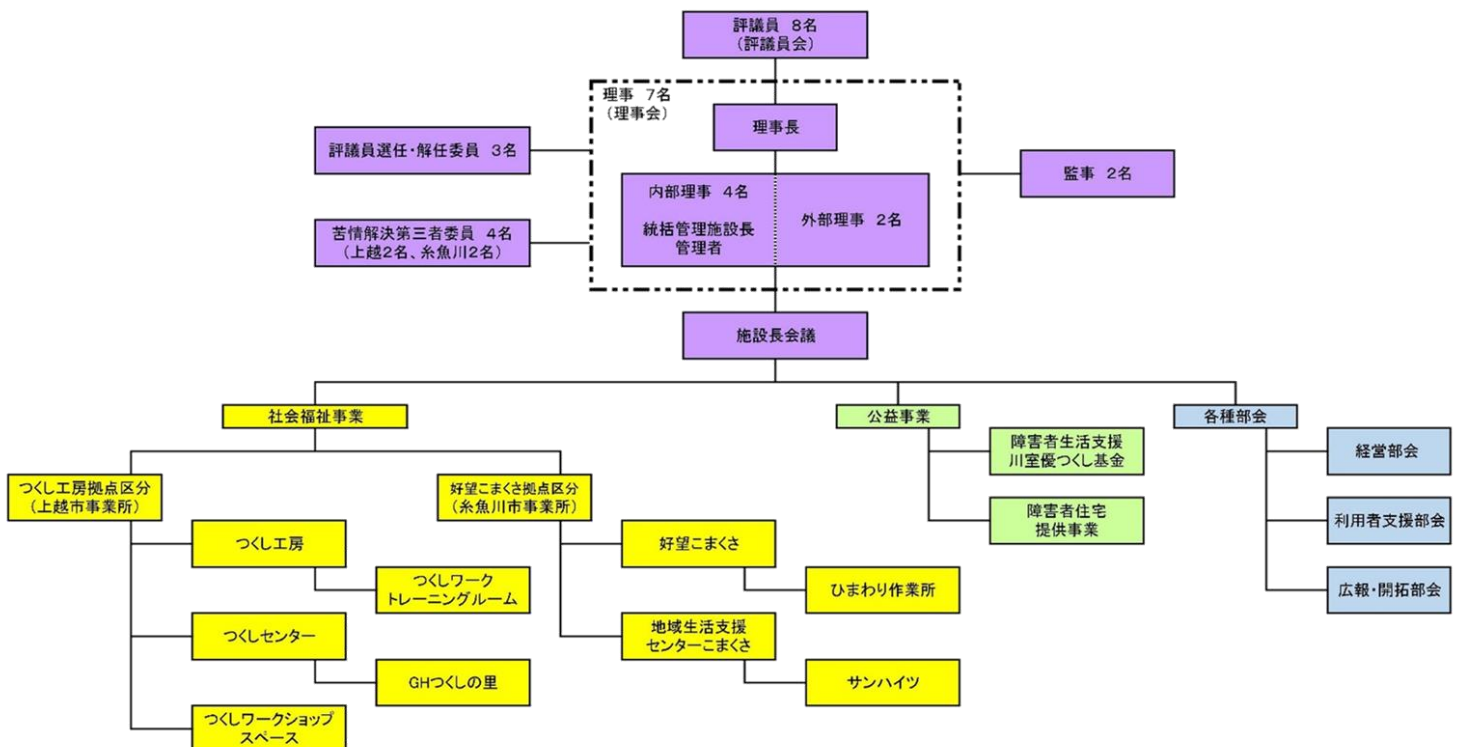
一人ひとりとのかかわり合いを大切に

誰もが暮らしやすい地域づくりを共に

### 基本方針

- かけがえのない個人として尊重し、その人らしい自立生活、自己実現を支援します。
- 人や文化の多様性を認め合い、その個性と力を活かした支援を行います。
- 社会福祉法人としての責任を果たすため、共に地域社会の向上に取り組みます。

(福)上越つくしの里医療福祉協会 組織図 (H29.4~)



# 活動紹介

## つくしワークショップスペース

就労継続支援 A 型と自立訓練(生活訓練)の 2 つの事業を行ってきました。就労継続 A 型に関しましては平成 28 年 11 月から弁当配食へ活動内容を変更して、管理栄養士がメニューを考えた、ヘルシーな手作り弁当を地域の皆様にお届けしております。また平成 28 年 10 月より就労継続支援 B 型(定員 5 名)の事業を開始しました。白衣の洗濯やアイロンがけ、和服のほつし作業などを個々のペースで行い、それぞれの目標や課題の達成に取り組んでいます。就労継続 B 型を開始したきっかけは、就労移行を利用する自信のない方や生活訓練を終了された方がステップアップをめざす場としてのニーズがあったことで、今後利用者数が増加すると予想されます。皆様に安心して通っていただけるよう、質の高いサービスを提供していきたいと考えております。



## 好望こまくさ・ひまわり作業所(分所)

糸魚川市民図書館からお話をいただき、大紅屋という町屋で、就労移行支援の実習として作業をしました。毎月第 2、第 4 の土曜日・日曜日に行いました。紅梅文庫の管理業務で、受付・展示書物の整理整頓・喫茶コーナーの管理・館内清掃がおもな作業です。ボランティアの「市民の会」の方と一緒に作業することができ、普段は気付かないところを指導していただきました。玄関先で「ふくふく」のお菓子や軽作業で作ったオリジナル製品の販売も行い、来館の皆様にご購入していただきました。好望こまくさ、ひまわり作業所を知っていただく機会となりました。平成 29 年度も依頼があり、28 年同様に作業をしています。地域の皆様には、温かく見守り、育てていただき感謝申し上げます。



## つくしセンター

障がい者の社会参加、並びに社会貢献活動を目的に毎年募金活動を行っており、ご協力いただいた方にはクリスマスツリーに愛情と希望を表す赤と黄色のリボンを結んでいただいています。

【第 19 回チャリティつくしツリー】(平成 27 年度)  
募金額：総額 398,900 円

寄付先・内訳：

「茨城県台風 18 号等災害義援金」へ 30,000 円

「NHK 歳末助け合い」へ 30,000 円

「障がい者の就労支援のための積立」へ  
(必要経費を除いたもの) 285,700 円

【第 20 回チャリティつくしツリー】(平成 28 年度)  
募金額：総額 377,532 円

寄付先・内訳：

「糸魚川市災害義援金」へ 100,000 円

「熊本地震災害義援金」へ 30,000 円

「NHK 歳末助け合い」へ 30,000 円

「障がい者の就労支援のための積立」へ  
(必要経費を除いたもの) 167,832 円

今後もご支援ご協力を賜りますようお願い致します。

## 地域生活支援センターこまくさ

地域住民交流活動、啓発活動の一環として、精神障害について正しい理解促進のための「こころのバリアフリー講座」を行いました。平成 28 年度は若い世代をターゲットに糸魚川白嶺高校の 3 年生 20 名に、障がい体験、「障がいとは？」の講義、当事者発表、グループワークを実施しました。

グループワークでは、限られた時間でしたが、若い感性で感じたこと、今後どのようなサポートができるのか、について活発な意見交換が行われました。



# 職員紹介

28年、29年に仲間  
入りました。よろし  
くお願いします！



前列左から

**田原喜恵子**（センターこまくさ 地活専門職員  
グループホーム 世話人）

利用者の皆様と関わる中でたくさんの事を学び共に  
成長していけたらなと思っております。

**山田 朝美**（好望こまくさ 就労継続支援B型 職業指導員）

お弁当部で働いて一年半が経ちました。皆様から優しく接してもらえることが嬉しいです。

**竹ノ内範昭**（好望こまくさ 就労移行支援 就労支援員、生活支援員）

まだまだ未熟者ではありますが、皆様から信頼される職員になれるよう精進してまいります。

**丸山 亮子**（好望こまくさ 就労移行支援・ひまわり作業所 就労継続支援B型 職業指導員）

昨年の10月から勤務しています。利用者様の立場や気持ちを大切に考えて勤めてまいります。

**松澤喜美栄**（好望こまくさ 就労継続支援B型 職業指導員）

4か月が経ち、皆様とお話が出来るようになりました。元気と声の大きいところがとります。

後列左から

**内山 成美**（つくし工房 就労移行支援 生活支援員）

皆さんとの関わりの中で、皆さんと共に私自身も成長していきたいなと思っています。

**大瀧 遥子**（つくし工房 就労移行支援・就労継続支援B型 職業指導員）

慣れない事が多く、皆様に一から教えて頂く事ばかりです。ご指導の程お願い致します。

**樋口恵美子**（つくし工房 配達業務担当 非常勤職員）

助け合いながら、思いやりと明るさのある職場環境作りを大切に考えています。

**山田 悠**（つくしワークショップスペース 就労継続支援B型 職業指導員）

職業指導員として自問自答する毎日ですが、初心の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。

# 役員等紹介（平成29年4月～）

評議員（定数7～9）	理事（定数6～8）	評議員選任・解任委員（定数3）
宮越 昇（会社取締役会長）	川室 優（理事長）	大竹 敏一（監事・社協事務局長）
長谷川 進（弁護士）	西脇 京子（医師）	横尾 一男（元評議員）
北峰 恵祐（住職）	礪波 康範（住職）	高橋 典子（管理者）
山崎 隆昌（福祉法人副理事長）	田邊 信（統括施設長）	苦情解決第三者委員（上越）
笹川 芳（墨画家）	山口 和久（管理者）	井部 真澄（医療機関精神保健福祉士）
上島 祐司（行政書士）	内藤 正樹（副管理者）	宮越 亮（相談支援事業所センター長）
吉原 富男（家族会長）	川澄 隆章（副管理者）	苦情解決第三者委員（糸魚川）
池田 義二（町内会長）	監事（定数2）	中村 政行（社協事務局長）
	大竹 敏一（社協事務局長）	清岡 誠（福祉事業所センター長）
	高橋秀一郎（税理士）	

## ご寄付のご報告 (H28 ご寄付いただいた順)

健康福祉花見会様、高橋秀一郎様、越後ひまわり祭様、川室優様、小高百合子様、上越つくしの里後援会様  
その他、それぞれの事業所にタオル、ミシン、英字新聞、デジタルカメラ等の物品を多数頂戴しました。

上越つくしの里後援会様（小熊迪義会長）より、平成 28 年度の寄贈品として、つくし工房に軽トラック（利用者の送迎や畑作業に活用）、つくしワークショップスペースに厨房機器（就労継続支援 A 型の弁当製造作業に活用）をそれぞれ頂戴しました。車両については、つくし工房のひまわりの作業に大活躍です！ 皆様からのご好意に、こころより感謝申し上げます。



軽トラック（つくしファーム 第 1 ひまわり畑にて）



### 平成 28 年度苦情受付

事業所	分類	苦情内容	対応
つくしワークショップスペース	処遇の内容 職員の言動	指定された時間に来所したが、少し待つように言われただけでそのまま 1 時間近く放置された。	謝罪を受け入れず帰宅してしまい、その後連絡がとれなくなる。計画相談担当者を通し、母親同席のもと本人と面談の場が設けられて謝罪する。謝罪を受け入れてくれたが、利用は中止のままである。今後、個別対応が必要な場合、あらかじめ職員の役割分担をはっきりさせて対応にあたる。
つくしセンター	職員の言動	職員の口調について、プライドが傷ついた。	女性職員に接近し体に触れようとする仕草があったため、咄嗟に強い口調に出てしまい、プライドを傷つけてしまった。陳謝と理解を得るため話し合いの場を設けようとしたが拒否されるが、担当相談員との話し合いで、自分にも非があったと言われ謝罪もいらぬ、今まで通り地活利用したいと希望される。
グループホーム つくしの里	処遇の内容	共同生活のため、日常生活において協調性を養えるような指導をしてほしい。	それぞれ抱えている、病状の理解や場面に合わせた個別対応をすることで理解をしていただいた。
好望こまくさ	施設利用料	今まで利用料がかからなかったのに、かかるようになった。	市役所に問合せ。昨年は手続きのミスで利用料がかからなかったことが分かり、そのことをお伝えした。27 年度はかかっておられた。
センターこまくさ	処遇の内容 職員の言動	自宅のパソコンの件で業者への同行を依頼したが断られたことに対して納得がいかない。	「同行」等の配慮についてセンターとしてどこまで対応できるか検討し、市職員と役割分担を行った。
グループホーム サンハイツ	処遇の内容 職員の言動	職員の口調が気に入らない。	職員側の意図が上手く伝わらなかったことに対して謝罪をする。事業所内の連携の徹底をする。

※一事業所一つずつ掲載しています。他の内容についてはホームページに掲載させていただきます。

### — 編集後記 —

平成 28 年度は、事業内容の変更や新しい事業が加わり、経営改善に向け全事業所が力を合わせ取り組んできました。新しい法人理念のもと、「誰もが暮らしやすい地域」となりますように、職員一同努めてまいります。今後もご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

(法人広報開拓部会 田邊、川澄、渡辺、藤井、山本)